



里の秋…紅の道 字路

秋の彼岸に、栃木県塩谷町大久保の荒川河川敷の堤防でヒガンバナが見頃を迎えた。写真。河川敷の両側の堤防に沿って約2万6000本が開花、県内外からの家族連れや写真撮影を楽しむ人など多くの見物客が訪れている。

同町の大久保まちづくり推進委員会が、地域おこしと環境保全対策として花を

植え、景観づくりに貢献している。2008年にヒガンバナの球根を植え、住民らが年3回、手入れをしている。今年は10日ごろから咲き始め、満開を迎えた。

同会の和氣忠永さんは「地面の緑と青い空に赤いヒガンバナが映えて見事な景観。多くの人に見に来てほしい」と話す。

(栃木・しおのや)